二夕 日刊
磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人 岡田弘成
印刷人
福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所 加納活版所
發行所 福島縣石城郡平町紺屋町十四 磐城時報社
一部金貳錢 一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五拾錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

濱三郡の農漁村 救濟方を陳情
縣會議員一行が上京

去る十一月十四、十五兩日の大暴風雨で甚大な被害を受けた相馬、双葉、石城三郡の農山漁村救濟につき釘本縣會議長、佐藤山田、井上、猪狩、渡邊六縣議及び大島縣農會副會長の一行十四氏は一日午前九時佐藤、菅野兩代議士と遠井勅選に案內されて帝國農會に月田副會長を訪問暴風雨の被害と農山漁民の窮狀を訴へ風水害對策として

一、罹災者に對して速に政府米無償交付若しくは特別拂下げ
二、災害地の地租免除
三、橋梁に要する材料の特別拂下げ
四、災害復舊資金を融通しその利率の低下をはかること
五、罹災者に肥料資金を特別融通すること
六、各種負債償還の五ヶ年延期
七、農業保險法實施

の實現方を陳情、次いで十時半から齋藤首相、後藤農相、山本內相及び高橋藏相を歴訪して同樣の陳情をした。

元平陽敷地賣却 一時保留と決定
道路を賣られては困ると 附近住民から苦情

平町では既報の如く田町一番地先平陽女學校敷地百二十八坪を坪當七十圓で賣却する計劃をたて播摀小路酒井ミヨ氏九千五百二十圓で買受けの出願中であつたが、右土地は臺帳面は百二十八坪であるけれども南端の道路が町有地であるため之を含ませて百三十六坪となつてをり、附近の人々が該道路までを賣られては迷惑するといふ陳情書が町當局に出たのでこの旨を土木委員會に諮つた處委員會でも決定し兼ね止むなく二日の町會に提案した。町會でも調査の必要を認め賣却の件を一時保留する事となつた。

▲四倉信用總會

四倉町信用組合の第十二回定期總會は三十日に午後一時半より小學校に於て開催したが協議案左の如し

第一 財産目錄、貸借對照表、事業報告書並に剩餘金處分案承認の件
第二 餘有金預け先決定の件
第三 諸積立金を事業資金に融通の件
第四 昭和八年度に於ける借入額最高限度決定の件（金拾万圓とす）
第五 昭和八年度に於ける一組合に貸付すべき貸付額最高限度決定の件
第六 定款變更の件
第七 本組合理事拾名任期滿了に付改選の件
第八 本組合信用評定委員二十四名任期滿了に付改選の件

而して理事改選の結果左の十名に決定した

吉田彌十郎、豊田盛次、大和田安次郎、吉田壽三郎、小港平次郎、中野捨興、長谷川寅次郎、門馬倉次郎、面川龜之助、植田萬次郎

▲平町區長決定

平町第二區長は木澤常松、二十四區長は鈴木廣成、同代理小野寛美三氏に決定した。

丸山中野兩氏の 戸數割異議申立
町會で理由なしと決定

平町播摀小路丸山喜一郎、新川町中野勇吉の兩氏は昭和七年度特別税戸數割賦課額に對し異議申立をなしてゐたが、二日午前十時から町會を召集し審議の結果町役場の賦課額は正當であつて異議申立の理由たゝざる旨の決定をなした。

遭難船慰問金
三十日扱分

金拾圓 白川屋材木店
金拾圓 丸上材木店
金五圓 寶川醫院
金五圓 草野七五三之助
金五圓 岡田千藏
金五圓 菅本庄治
金參圓 藤居果物店
金參圓 小鍛冶兼吉
金參圓 三九二タクシー
金參圓 岡田政次郎
金參圓 金成醫院
金貳圓 星眼科院
金貳圓 正札堂洋品店
金貳圓 菅野屋商店
金貳圓 平松均子
金貳圓 白土茂平
金貳圓 松本屋菓子店
金貳圓 馬目房次郎
金貳圓 鱗興支店
金貳圓 トキワヤ時計店
金壹圓五十錢 フデヤ洋品店
金壹圓 齋藤千代重
金壹圓 田崎信德
金壹圓 中野恒兵衛
金壹圓 青木秀次
金壹圓 牛久子供洋服店
金壹圓 鈴木莊助
金壹圓 田卷造酒之助
金壹圓 吉田彦太郎
金壹圓 白土七太郎
金壹圓 園部國安
金壹圓 惠比壽屋
金壹圓 花澤久一郎
計八十六圓五十錢
累計金九百六十四圓五十錢

師走の商店取締

師走を迎えた平警察署では例年同樣年末年始の取締に萬全を期すべく兼てこれが對策につき協議中であつたが、いよ／＼この程左の如き腹案を得て近く發表實施することゝなつた。

×

先づその中特筆すべきものでは毎年行はれる市內各商店の福引景品付歳末賣出しで從來この種の中にはいかゞはしきものが多く實際にその景品が籤の中に入つてゐないインチキ福引もあつたのでこの種の屆出あつた際は今年は特に警察官立會の下に籤を作らしめることゝし、更に店仕舞、投げ賣り、廉賣等に名を藉りてインチキものを賣りつけたり誇大の宣傳で暴利をむさぼる不正商人の嚴重なる取締を行ふ筈で、その他では

一、押賣、寄附募集、金錢強請等の取締り
一、歳末に際し特に增加する盗難豫防を各家庭に警告
一、防火の注意及飲食場及風紀取締り
一、賣出し廣告塲裝飾、門松等は交通上妨害とならざる樣設備する
一、露店は指定區域外は絶對に許可せぬこと
一、酒氣を帶びて自轉車に乘らざること
一、門松及裝飾の暴利取締り
一、カフエー、料理店等の營業時間

磐中對平商業校
定期野球決勝戰
明四日午後一時擧行

磐城中學校對平商業學校優勝旗爭奪戰は一勝一敗のまゝ決勝戰を迎ゐる事になつたが愈々明後四日日曜日午後一時から磐城中學校球場で擧行する事になつた。最後の榮冠は何れに歸するや、ファンの見逃し得ざる快試合を演ずる事と信じます。

磐城時報社

磐中保護者會を開け（下）

保護者會有志（寄）

吾人は最近の思想問題を檢討する時、直接行動より恐る可きものがないと考へて居る。然るに直接行動が校紀粛正の唯一無二方法手段と確信する教師が存在する場合如何に安如として吾人の子弟を托する事が出來ようか、不安此れより大なるは無しと云はなければならぬ。然るに直接行動を唯一無二の至上主義とする体操教授は此の前も荻野某（五年生）を毆打し本人は其の爲め其後頗る腦を惡くしたとの事を聞て居る直接行動は最近は最も劣惡低級なる手段方法として吾人の最も嫌汚するものである。されば學校當局は一昨年田村中學の毆打致死事件以來極度に周章狼狽し生徒にして同僚亦は下級生を毆打したる場合は其の理由如何に不拘直ちに退校、停學を命ず、との嚴命を下し、現に些々たる直接行動を行つた廉に依り停學を命せられたる者あるのである。如斯直接行動防止を極度に警戒し且つ亦嚴罰處分をする以上、生徒のやつた行動は嚴罰處分を實行し、教師のやつた直接行動は默過すると云ふ事は有り得べきものでない。否より以上嚴罰の責を負はなければならないと信ずる。少くとも吾人が左樣な非常識にして陋劣なる教師の存在する間安如として吾人の子弟を托する事が出來ない。のみならず此の問題は單に一体操教授對生徒との問題でなく、正に教育界の由々敷き重大問題として考へなければならぬ。

幸ひ磐中には斯樣な重大問題は勿論常に些々たる問題にも便宜な家庭と學校との連絡機關として保護者會と云ふものか設立せられある故に此の保護者會は此度の問題に對しては飛強の良き存在である、學校當局は須しらく保護者の招集を急速實行し以て一般父兄に對し問題の眞相を闡明すると共に此後の學校當局の方針を明かにし、以て吾人の不安と疑懼の念を一掃せられん事を希望して止まぬものである。前述の理由に依り至急保護者會の招集を一般保護者と共に要望する事切なるものである

磐城中學校
保護者會有志

三河産業博覽會
昭和産業博覽會　金牌受賞

かまぼこ製造

儀式用

折詰仕出し

平町一丁目

お惣菜用
さつま揚
吉原揚

天藤商店

電話一四一番

平館

ワリビキケン

割引券

二十錢券
一枚十五錢

平町土橋

電話四八ヲ九ク

吉田眼科病院

平町紺屋町　電話六八番

かまぼこ

折詰仕出し

御惣菜用さつま揚、吉原揚

平町二丁目

藤市蒲鉾店

電話三〇五番

電話買受たし

希望者は本社へ
御問ひ合せ乞ふ

共存共栄　大擴大主義計

磐城無盡

誠意堅實　簡易ノ金融趣味ノ貯蓄

平町電話三七八番

胃腸専門

癌専門

内科
十二指腸虫病
婦人病
膚皮病

松村胃腸病科醫院

平町南町　【電話一〇七番】

強壯殺菌劑
精力增進劑

ニンニク丸

東北六縣總發賣元

平町

山野邊藥局

十四日分一・四〇
二八日分二・四〇

七五三子供服大賣出

お孃樣、お坊ちやまの可愛らしい御祝用子供オバーを種々取揃へ店頭に陳列して御御座ひます。

◆女兒服　色メル　ビロード　二・一〇ヨリ　二・三〇ヨリ
◆男兒服　スコッチ　茶メル　一・九〇ヨリ　三・四〇ヨリ
◆男女柄オーバ　二・〇〇ヨリ
◆メルトニオーバ　二・六〇ヨリ

ふかや洋服店

平三丁目　電話302番

皇漢藥合成品

喘息五靈湯

頑固性慢性ニヨシ

五日分一圓

山野邊藥局

吸入用酸素

純度99%

度量衡

モノサシ
マス
ハカリ

寒暖計

体温器

◉秤ノ取緒（トリヲ）・鍾馬（タマイト）・修覆（トリカヘ）致シマス

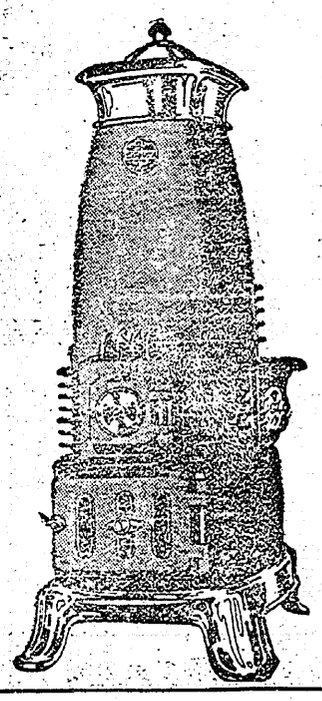
關内藥局

電話四〇番

嚴冬の征服者

福祿ストーブ

戸毎に福祿



四海は常春

電話二七番へカタログ御申越下さい
早速持參致します

平停車場前

福祿ストーブ
福島縣一手販賣

ツ阿部石炭店

鹼石ニクカ

生命と信用を賭して
精選せる純良の
質と……量と……
最後の一片が消え去る迄
優雅な香が續く……

化粧用（一ヶ　十錢　壹打　一圓二十錢）
洗濯用（一ヶ　十錢　壹打　一圓）

ヤルツ

平町4　電140

専門

内科一般

内科ハ何デモ診療致マス
呼吸器病バカリデハアリマセン

平町南町六五改（電話一八一番）

川井内科診療所

醫學士　川井重之
女醫　川井安子